

大雨時のわが家の行動チェックシート

雨が多くなる時期は、河川の洪水や土砂災害に警戒する必要があります。このチェックシートは、いつ、どこに、どうやって避難するのかを普段から具体的に考えておくことで、いざという時に迷わずに避難行動をとるためのものです。大雨の時をイメージして、とるべき行動を家族で確認しましょう！

ステップ1 ハザードマップで自宅の危険性を調べましょう！

①河川の洪水浸水想定

河川名	家屋倒壊危険ゾーン	浸水深	浸水継続時間
富士川	内 ・ 外	有 (m) ・ 無	時間未満
潤井川	内 ・ 外	有 (m) ・ 無	時間未満
沼川	内 ・ 外	有 (m) ・ 無	時間未満
小潤井川	内 ・ 外	有 (m) ・ 無	時間未満
赤淵川	内 ・ 外	有 (m) ・ 無	時間未満

②土砂災害

土砂災害警戒区域（イエロー）	内 ・ 外
土砂災害特別警戒区域（レッド）	内 ・ 外

 「ふじタウンマップ」
でチェック！



③その他（①②以外に自宅周辺で大雨時に危険だと思われる事柄があれば記入してください）

（例）溢れやすい水路、冠水しやすい場所 など

ステップ2 避難する場所、方法を決めましょう！（該当する項目に☑）

ステップ1で、自宅が危険区域内にある方は、**危険区域の外側へ**早めに避難しましょう！

①どこへ避難しますか？

知人や親戚宅（ _____ さん）

市が開設する避難場所（ _____ ）

※「市が開設する風水害時の避難場所 一覧」を参照してください。

自宅の2階以上 ※浸水深が低い場合に限る その他（ _____ ）

②どうやって避難しますか？

徒歩 自家用車 知人・親戚の車で（ _____ さん）

その他（ _____ ）



ステップ3大雨時の行動とタイミングを確認しましょう！（マイタイムライン）

■大雨時の行動の例



<p>①今後の雨の降り方について調べる ⇒テレビ、パソコンやスマホを使って、雨の降り方や、危険性が高い地域や時間帯を確認しておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報やデータ放送（dボタン） ・気象庁HP「降水短時間予報」
<p>②避難の準備をする ⇒非常用持ち出し袋などの確認 避難先の親戚・知人への連絡 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難しやすい服装も準備 ・いつでも避難できる準備、心構えをしておく
<p>③洪水や土砂災害の危険度、避難情報等を確認する ⇒気象庁などのホームページから、富士市の洪水や土砂災害の危険度、避難情報の有無などを確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁HP「危険度分布」（土砂災害、浸水害、洪水害） ・富士市HP「防災気象情報」
<p>④避難を始める ⇒どこへ、どうやって避難するかはあらかじめ決めておく（ステップ2で決めた場所等へ避難）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に時間が掛かる方は、早めに避難を開始する ・屋外へ避難する場合、移動途中も気をつける
<p>⑤避難を完了する</p>	

大雨が予想される時、あなたが上記の①～⑤の行動をとるタイミングについて、以下のタイミングの欄に数字を記入してください（1つの欄に複数記入可）。

タイミング	時間の目安	状 況
	前 日	翌日の朝から昼前にかけて猛烈な雨が 予想され、ニュースや天気予報で河川洪水や土砂災害などに 「<u>嚴重な警戒</u>が呼び掛けられている
	6時間前	朝から激しい雨が降り続き、 「<u>雨粒が屋根や窓を打ち付ける音</u>が聞こえる
	5時間前	富士市に 「<u>大雨警報（土砂災害）</u>」（警戒レベル3相当情報） が発表される
	3時間前	近くの河川の水位が「避難判断水位」を超える ⇒ 「<u>高齢者等避難</u>」（警戒レベル3） を発令
	2時間前	近くの河川の水位が「氾濫危険水位」を超える 富士市に 「土砂災害警戒情報」 が発表される ⇒ 「<u>避難指示</u>」（警戒レベル4） を発令
	0時間	河川の水が氾濫、土砂災害が発生 ⇒ 「<u>緊急安全確保</u>」（警戒レベル5） を発令（発令されない場合もある）